
第 71 回音シンポジウム

インパルス応答測定に基づく室内音響指標の算出に関する 現状と課題－音響指標ベンチマーク問題の作成に向けて

主催：一般社団法人 日本建築学会 環境工学委員会 音環境運営委員会 室内音響小委員会

日時：2012 年 11 月 27 日（火）13:00～17:00

会場：建築会館 3 階会議室（東京都港区芝 5-26-20）

残響時間、C 値をはじめとする室内音響の物理指標は、設計時の予測、竣工後の検証、状態の把握など、さまざまなところで用いられ、その重要性が増している。ISO3382-1 において、インパルス応答測定に基づく指標算出手法が標準化されており、測定や指標算出に関する留意点などが述べられているが、十分な精度の結果を得るためには、ばらつきの原因を明確にし、これを低減するための対策が必要である。音響指標測定研究 WG では、ばらつきの原因を測定手法によるものと指標算出処理によるものとに切り分け、主に指標算出に起因するばらつきを整理し、検証するためのベンチマーク問題の作成に取り組んでいる。本シンポジウムでは音響指標測定研究 WG の取り組みを紹介するとともに、測定法に関わる現状と課題について議論する。

<プログラム>

第一部：WG の取り組みの紹介（13:00～15:00、司会：大久保洋幸）

1. 主旨説明：大久保洋幸（NHK 技研）
2. ISO3382-1 概説：星和磨（日本大学）
3. 残響時間等減衰曲線に関するベンチマーク問題の設定に向けて：
朝倉巧（清水建設）、丸井淳史（東京芸大）、安田洋介（神奈川大）
4. C80 値等エネルギー積分に関するベンチマーク問題の設定に向けて：
矢入幹記（鹿島建設）、宮崎秀生（ヤマハ）、神田淳（NHK アイテック）
5. 講演に対する質疑

第二部：測定法に関する講演（15:20～17:00、司会：大久保洋幸）

1. 音場の時変性がインパルス応答の測定に及ぼす影響（仮）：佐藤史明（千葉工大）
2. 音場内の無指向性物理指標の空間分布について（仮）：尾本章（九州大）
3. インパルス応答計測のための最適信号について（仮）：金田豊（東京電機大）

参加費：会員 1,000 円、会員外 1,200 円、学生 500 円（資料代を含む、当日会場でお支払いください）

定員：70 名（申し込み先着順）

申込方法：(1)Web 申し込み <http://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=293> よりお申し込みください

(2)E-mail による申し込み 催し物名称、参加費種別、会員番号、氏名、勤務先・所属、同電話番号を明記し、E-mailにてお申し込み下さい

申込問合せ：日本建築学会事務局 研究事業グループ 一ノ瀬

TEL03-3456-2051 E-mail：ichinose@aij.or.jp